

日本の未来を切り拓く新たな拠点 東京支社新社屋「東大前 HiRAKU GATE」披露セレモニーを開催

—当ビルの設計監理を手掛けた安藤 忠雄氏が来場予定—

株式会社新興出版社啓林館（本社所在地：大阪市天王寺区、代表取締役：佐藤 諭史、以下「新興出版社啓林館」）は、2023年8月7日、新興出版社啓林館東京支社の新社屋「東大前 HiRAKU GATE」の披露セレモニーを執り行います。当日は、当ビルの設計監理を担当された建築家・安藤 忠雄氏も来場される予定です。ご多忙の折とは存じますが取材を賜りたく、ご案内申し上げます。



【披露セレモニー】

日時：2023年8月7日（月）14時～15時

会場：東大前 HiRAKU GATE（東京都文京区向丘2-3-10）

- 次第：
1. 施主代表挨拶（代表取締役社長 佐藤諭史）
 2. 安藤忠雄氏挨拶
 3. 来賓挨拶
 4. 感謝状・記念品贈呈
 5. 新社屋説明

司会：国山ハセン氏

※取材に当たっては事前のお申し込みをお願いします。

■取材に関するお問合せ先

株式会社 新興出版社啓林館 総務人事部広報課

電話 : 06-6779-1531 メールアドレス : media@shinko-keirin.co.jp

お申込み書式 <https://www.shinko-keirin.co.jp/#media>

※会場の収容人数の関係から、すべての取材をお受けできない場合があります。

「東大前 HiRAKU GATE」について

新興出版社啓林館東京支社が「文京の地に新たな創造拠点をつくる！」のコンセプトのもと、建築家・安藤忠雄氏設計監理によって新しく生まれ変わります。東京都内では数少ないP2レベル（※）の実験が行えるウェットラボ機能、大小さまざまなオフィス、そして多彩なミーティングルームを備え、4階～10階をスタートアップ企業に開放。東京大学との提携協定のもと、日本のスタートアップ支援という形で新たな事業を行います。また、東大IPCとも連携し、コワーキング施設、1st Round BACEを運営いたします。

新興出版社啓林館の社員を含むここで働くオフィスワーカーの一人ひとりにとって、快適さを備えた施設であることはもちろん、さまざまなオフィスや人々が出会い、交流することで、「創造」「独創」「共創」が随所で生まれる「三創空間」となることを目的としています。

日本のビジネスを面白くする人々が集い、共に知を磨くことで、ユニークなアイデア、エポックなアプローチを生み出す、世界へと通じる「GATE」となることを目指します。

なお、当ビルの運用開始は、2023年8月28日を予定しています。

(※) 物理的封じ込めレベル

【新興出版社啓林館 東京支社 新社屋】

名称：東大前HiRAKU GATE

住所：東京都文京区向丘2-3-10

竣工：2023年8月竣工

設計：安藤忠雄建築研究所

施工：前田建設株式会社

構造：鉄骨造 地上10階 地下1階

延床面積：5,820.77m² (1763.8坪)

ウェブサイト：<https://www.hiraku-gate.co.jp/>

自社使用：地下1階～地上2階（3フロア）

テナント用：地上3階～10階 3,520.65m² (1,066.8坪)

駐車場：21台

事務所内高さ：2,850mm

O A床：100mm

耐震等級：上級（耐震等級2）通常の耐震基準の1.3倍 ※避難所となる建物（病院・学校）と同基準



■株式会社新興出版社啓林館について

新興出版社啓林館は、小学校・中学校・高等学校の教科書・教材、児童図書、ICT教材などを編集制作・販売し、77年にわたって日本の学校現場をサポートしている出版社です。「新興出版社」／「啓林館」／「文研出版」3つのブランド名で子どもたちの未来を創造する教材を提供しています。

当社詳細についての情報は、ウェブサイトをご覧ください。

ウェブサイト：<https://www.shinko-keirin.co.jp/>

株式会社 新興出版社啓林館のプレスリリース一覧

https://prttimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/32562

【本プレスリリースに関する問い合わせ】

株式会社新興出版社啓林館 総務人事部広報課 (担当；宮房)

電話：06-6779-1531 メール；media@shinko-keirin.co.jp